

佐野ひなこさんが自然と文化が調和する、高梁市を巡る 「旅色FO-CAL」岡山県高梁市特集公開 高梁市の旅の魅力を電子雑誌・動画・紙冊子でナビゲート

株式会社ブランジスタメディアは、岡山県高梁（たかはし）市と提携し、ローカルの旅の魅力を発掘する「旅色 FO-CAL」岡山県高梁市特集を8月5日に公開いたしました。電子雑誌・動画・紙冊子のナビゲーターを務めるのは、佐野ひなこさんです。

「旅色 FO-CAL」岡山県高梁市特集 / スペシャルナビゲーター・佐野ひなこさん 「暮らすように旅をする 高梁さんぽ」

<https://tabiiro.jp/book/fo-cal/takahashi/>

電子雑誌「旅色」は、岡山県高梁市と提携し、同市の認知度の向上、交流・関係人口の拡大、移住の促進などを目的とした「旅色」の特別編・「旅色 FO-CAL」岡山県高梁市特集を公開いたしました。また、電子雑誌を紙冊子にしたパンフレットを制作し、市内の観光施設、JR 備中高梁駅などでの配布や、ふるさと納税寄附者への郵送などを行う予定です。高梁市の旅の魅力を、電子雑誌・動画・紙冊子にて、統一感のある立体的なPRを行います。

今回、佐野ひなこさんが旅した岡山県高梁市は、美しい緑の山々に囲まれた、県中西部に位置します。中でも吹屋地区は、江戸時代から明治時代にかけて、赤色顔料であるベンガラの全国随一の生産地として栄えた場所。ベンガラは、社寺や、九谷焼・伊万里焼・輪島塗など、日本各地の建築や工芸品に使われ、日本を代表とする赤として「ジャパンレッド」とも呼ばれ、その産地である吹屋の町並みは「ジャパンレッド発祥の地」として日本遺産にも認定されています。ほかにも、標高430メートルにそびえ立つ備中松山城や、自然が育む新鮮な野菜やフルーツといった名産品も盛りだくさん！ここでしか楽しめない特別な旅に佐野ひなこさんが出かけます。



■ 1泊2日でいく 高梁まち巡り

<https://tabiiro.jp/book/fo-cal/takahashi/trip/>

風光明媚な赤い町並みの吹屋地区や、天空の山城とも呼ばれる備中松山城など、歴史と文化が調和する岡山県高梁市。豊かな自然が生み出す名産品も楽しみながら、知れば知るほど魅力的な高梁市を佐野ひなこさんが巡ります。特に吹屋地区でのベンガラ染物体験は「『大人の泥遊び』みたいな感覚で、とても楽しかった！」と満喫したようです。本誌でぜひ確認してください。



佐野ひなこさんが高梁市を旅するスペシャルムービー

https://youtu.be/VVyl_OsulGE

■ 「移住して来ました！」 住んで分かった高梁・暮らしの手帖

<https://tabihiro.jp/book/fo-cal/takahashi/column/>

高梁市に移住した3名のインタビューをご紹介します。なんと全員、移住するまで首都圏で生まれ育った方々。高梁市で生活するからこそ見つけることができた魅力について何うと、三者三様の答えが返ってきました。



■ 高梁の“うまい”を届けるクラフトマン

<https://tabihiro.jp/book/fo-cal/takahashi/column2/>

緑豊かな山々に囲まれ、水資源が豊富な高梁市は、その地形を活かして生み出される食べ物も絶品ばかり。思わず「うまい!」と唸ってしまうような、高梁市のおすすめの食べ物をご紹介します。



■ 佐野ひなこさん スペシャルインタビュー

<https://tabihiro.jp/book/fo-cal/takahashi/interview/>

キュートな愛らしい表情や抜群のプロポーションで、モデルのほか、女優として映画やドラマへの出演だけでなく YouTube などでも幅広く活動し、世代や性別を超えて愛される佐野ひなこさん。プライベートでも旅が大好きと話す彼女ですが、「高梁市の方はどなたも言葉が優しく、あたたかい人柄の町だなととても癒されました」と、今回の高梁市の旅では地元の方との交流も印象的だったようです。旅での気づきと普段の旅スタイルについて聞きました。



<株式会社ブランジスタメディア 会社概要> <https://media.brangista.com/>

本社所在地：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 20-4 ネクシィーズスクエアビル

代表者：代表取締役社長 井上秀嗣

事業内容：電子雑誌出版・電子広告

株式会社ブランジスタメディアは、株式会社ブランジスタ（東証上場 6176）のグループ企業です。

本リリースに関するお問合せ 株式会社ブランジスタ 広報担当：田口隆一
e-mail: press@brangista.com / TEL: 03-6415-1183